

職業講話（第三小学校）

と き	令和元年 11 月 13 日（水） 13:45～14:30
と ころ	沼津市立第三小学校 教室
対 象	6 年生（53 人）
内 容	男女の平等意識や人権を尊重することの大切さを学ぶとともに、性別にかかわらず個性と能力を伸ばし、子どもの頃から男女共同参画意識を浸透させることを目的に、男女共同参画推進事業所（3 事業所）による職業講話を行いました。



【沼津市子育て支援課の方】

保育園で保育士として働いています。0 歳児の保育を担当していて、子供の表情から状況を判断しなければならず難しいことも多いのですが、子供たちが自分を頼ってくれることに喜びを感じます。最近は男性の保育士も増え、女性にない力強さがあって、子供たちにも慕われています。



【駿東伊豆消防の方】

消防署で消防士として働いています。人のためになる仕事をしたいと思いこの仕事に就きました。ありがとうございますと感謝されることをうれしく思います。女性消防士の数は少ないですが、救急患者への対応など女性の方が向いている仕事もあり、多くの方に興味を持ってもらいたいです。



【沼津市立病院の方】

沼津市立病院で看護師として働いています。入院患者さんの体調管理、投薬管理など注意力の必要な仕事が多いです。観察力、思いやりを大切に取り組んでいます。男性看護師も増え、お互い協力しながら働いています。患者さんに感謝されたり、頼られた時にやりがいを感じます。

子どもたちの感想

- 私もお話を参考にして、誇りを持てる職業に就けるように頑張りたいと思いました。
- ぼくも将来自分のためにお金を稼ぐためだけでなく、何か人のためになることをしたいと思いました。
- 男女関係なく仕事をする、仲間と協力して働く、どんなことでも諦めないことが大切である、と教えてくださり、ありがとうございました。